

エコサイクル オーロラII・操作マニュアル

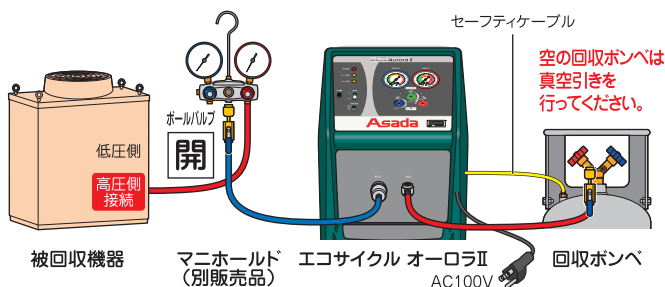
⚠ 注意

本マニュアルは操作手順の概略を示したものです。
ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、
取扱説明書を必ずお読みください。

フロン回収・再生作業

一般的な回収・再生の操作方法について示します。

1 ホース類の接続と排気



- ① ホース・コード類と各バルブを上図のようにセットする。
※ フィルタの取付方向に注意すること。
回収量 90kg または詰まったときに交換すること。

- ② ホース(赤)のボールバルブを **開**



- ③ 運転切替スイッチを **連続**



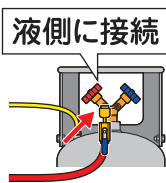
- ④ 電源スイッチを **ON**



- ⑤ 吸引圧力ゲージが真空に達したら、V1 取入口バルブを **セルフクリーニング**



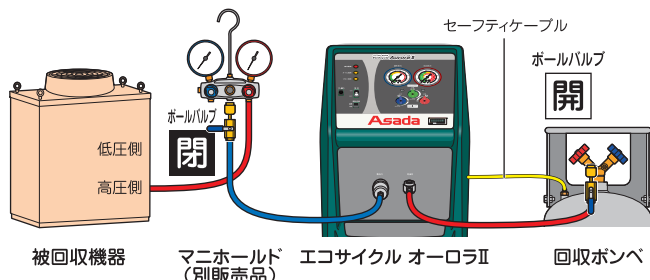
- ⑥ 再度、吸引圧力ゲージが真空に達したら、一旦外したホースをポンベの液側に **接続**



- ⑦ 電源スイッチを **OFF**



2 回収・再生作業



- ① 各バルブを上図のように操作する。

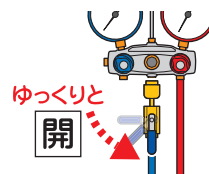
- ② 運転切替スイッチを **自動停止**



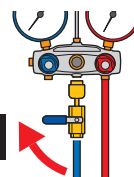
- ③ 電源スイッチを **ON**



- ④ 取入口側ホースのボールバルブを **ゆっくりと開**



- ⑤ 吸引圧力が -0.03MPa で本機は **自動停止**



- ⑥ 取入口側ホースのボールバルブを **閉**

- ⑦ 電源スイッチを **OFF**



- ⑧ 被回収機器とマニホールドの高圧側を **閉**

回収終了後5~10分そのまま放置して、
冷凍機油に溶け込んだフロンの蒸発を待ってください。
所定の圧力より圧力が上昇した場合は、再度回収を実施してください

冷媒種類	充填量	所定の圧力
R12、R22、R32、R500、R502、R115、R125、R218、R134a、R401A、R401B、R402A、R402B、R403B、R404A、R407A、R407B、R407C、R407D、R407E、R410A、R410B、R422A、R422D、R507A、R509A、R1234yf その他、不活性冷媒および特定不活性冷媒	2kg未満 2kg以上	0MPa -0.01MPa

3 フロン排出(セルフクリーニング)作業

▲ 注意

● 電源の電圧降下にご注意ください。

防
止
方
法

- ・できるだけ元電源、回収装置単独で使用する。
- ・やむを得ず延長コードやリールコンセントを使用する場合は、線径の太いものを使用する。
- ・コードリールは、巻いたまま使用しない。
- ・昇圧器(アップトランス)を使う。
- ・発電機を使う。

● 周辺温度が高い場合、ボンベの温度・圧力の上昇にご注意ください。

対
処
方
法

- ・真空引きされた予備のボンベと交換する。
- ・サブクールによりボンベを冷却する。
- ・回収装置の吸引側の圧力を下げて使用する。
- ・別売のクーリングユニットを使用する。

回収時間の短縮方法

● 回収ボンベ内の圧力上昇を抑える(夏場での回収/効率的な段取り)方法

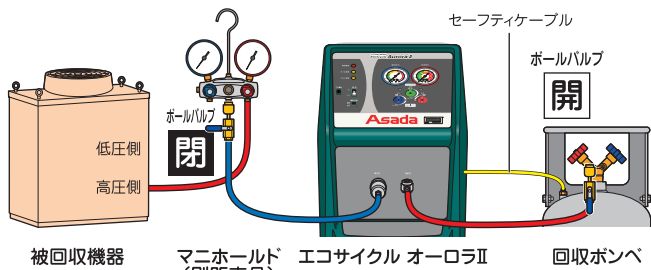
- ・日陰の風通しの良い場所に回収機器を設置。
- ・回収装置や回収容器を床に直置きせず、床から1m程度はなす。
- ・予備の回収容器を日陰に数本用意しておく。
- ・周辺温度が高い場合には、空冷凝縮器の効果が低い為、扇風機等で凝縮空気量を増加させる。
- ・回収容器を濡れ雑巾などを利用して冷却する。
- ・周辺温度が高い場合には、回収容器を扇風機などで強制冷却させる。
- ・クーリングユニットやサブクールを適時使用する。
- ・できるだけ液回収を優先して回収する。
- ・回収装置の吐出圧力が高くないように、吸引圧力を調整し、回収作業を行う。

● 機器内の圧力低下による効率低下を防ぐ(低温・凝縮液化/効率的な段取り)方法

- ・液回収優先した後、液・ガス両側ポートから回収。
- ・対象機器のクランクケースヒータを通電したままにする。
- ・アキュムレータ等に結露したら加温・振動し蒸発を促す。
- ・吸引圧力が0.1MPa程度で、回収が進まない場合、作業を休止し圧力上昇を待って回収を再開。
- ・複数の機器を同時接続し、低温凝縮の影響を低減させる。
- ・縦配管が長い場合は、配管下部からも回収を行うことや配管下部を加温・振動し蒸発を促す。

出典：冷媒回収推進・技術センター「冷媒回収処理技術」
(社)日本冷凍空調設備工業連合会「フロン回収ポケットマニュアル」

サービスバルブ
 低圧側 高圧側 **閉** **閉**
 低圧側 高圧側 **閉** **閉**
 V1 取入口バルブ **開**
 V2 切替バルブ **回収**
 V3 吐出口バルブ **開**
 液バルブ **開**



① V2 切替バルブを **セルフクリーニング**

※ 自動停止の場合、吸入側の圧力が大気圧より高くないと始動しません。



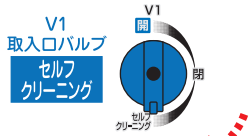
② 運転切替スイッチを **自動停止**



③ 電源スイッチを **ON**



④ V1 取入口バルブを
 吸引圧力を0.2MPa以下に
 調整しながら **セルフクリーニング**



⑤ 本機が自動停止したら、
 回収ボンベの液バルブを **閉**

吸引圧力は
 0.2MPa以下に調整

⑥ V3 吐出口バルブを **閉**
 吐出口側ホースのボールバルブを **閉**

⑦ 電源スイッチを **OFF**

※ 吐出側には、少量のガス状冷媒が残っています。
 真空引きされたボンベを使用して、
 本装置及びホース内のフロンを回収してください。



⑧ ホースの接続を外す。

すべての回収作業が終了

Asada アサダ株式会社

本社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支店 / 東京・名古屋・大阪
 営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
 広島・福岡

海外事業所
 アサダ・タイランド社 (バンコク)
 台湾漢田股份有限公司 (台北)
 アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)
 アサダ・インド社 (ムンバイ)
 上海漢田进出口有限公司 (上海)
 アサダ USA (カリフォルニア)

工場
 犬山工場 (愛知県・犬山市)
 アサダ第一精工株式会社 (松本市)
 アサダ・マシンリー社 (バンコク)

製品の使用方法に関するお問合せは
 ☎ 0120-114510 (イイシゴト)
 (受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土・日・祝日)

www.asada.co.jp